



校長室だより 2

黒部市立荻生小学校
文責：校長 寺島紀子
令和5年7月6日
5年度第12号

4日(火)は、5・6年生が黒部峡谷への校外学習を行いました。立山黒部ジオパーク学習の一環として黒部市から全面的な支援をいただき、市内の小学5・6年生が2年間に一度はトロッコ電車に乗ることができます。荻生小の番となったこの日は素晴らしい好天に恵まれ、子供たちは大自然の絶景を五感でめいっぱい味わい、楽しんできたようです。

来たる7日(金)は学習参観を予定しています。それに合わせ、児童玄関前の廊下では、恒例の自学ノート展を開催しています。誰のノートが展示されているか、またどのような点が参考になるか、子供たちは早速見入っています。保護者の皆様も、是非ご来校の際にご覧ください。また同日は、学級懇談会や心肺蘇生法講習会も予定されています。たくさんのご参加をお待ちしています。

さて、今週も発熱等で数日続けて欠席する子が多い学年があり、心配しているところです。ただ、今のところはマスク着用等の対策も引き続き各自の判断で、としています。暑さで体力も消耗しがちです。各家庭ではこれまでどおり「食事・運動・睡眠」の健康の基本三原則を家族ぐるみで心がけ、お子さんの体調に注意していただきますようお願いいたします。

今年度も校長杯大会を行っています

お便りの行事予定等でもお知らせしていたとおり、今年度も荻生小学校ではいくつかの校長杯大会を行います。日頃の授業とはひと味違う内容で、全校が学年の枠を越えて(そして時には子供と大人の枠を越えて)『同じ土俵で競い合う』大会です。上位者にはささやかな賞品も用意します。子供たちにとって小さな楽しみと励みの一つとなればと思っています。以下のとおり校長の独断と遊び心で企画・実施させていただきますが、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

★短歌づくりを通して「や・か・た」も育てたい「短歌大会」

短歌大会は昨年度よりも回数を増やし、毎学期行う予定です。「1～3年生の部」と「4～6年生以上の部」とに分け、第1回目の大会を6月後半から行っています。「1～3年生」の入賞者は先週ランチルームで発表しました。「4～6年生以上」の入賞者は今週中に発表できそうです。作品集も作って後日配る予定ですので、楽しみにしてください。

短歌は定型詩なので、自分が読み込みたいことをいかにギュギュッと五七五七七五のリズムにはめていくか、ということになりますが、今回はかなりコツをつかんで自力でまとめていた子が多く、成長を感じました。一方、1年生や今回初挑戦の子供には事前にいっしょに考える時間をとり、1対1で子供と会話をしながら「短歌のタネ」と使えそうな言葉を探して、子供の思いにぴったりの短歌の形にまとめていくようにサポートしました。一人一人が自分の短歌を大切に思ってくれればいいと思います。

そして、★自分のことを工夫して短歌によみこもう。【かしこく】

★短歌を通しておたがいのことを知り、友情を深めよう。【やさしく】

★よりよい作品を作り、入賞を目指して大会に挑戦しよう。【たくましく】

短歌づくりを通して「や・か・た」を育てることにもつなげたいと願っています。

★2分間集中して計算に取り組む楽しさを！「校長杯計算大会」も行います

そして今年度は校長杯の計算大会も企画し、早速ですが、6日(木)の朝(ぐんぐんタイム)に第1回目を行いました。「全校が同じ土俵で」ということで、問題は1年生で学習した「4+2」「5+3」といった一桁の数のたし算ばかりです。校内放送の合図で2分間、全校一斉に取り組みました。

この「校長杯計算大会」では、校長としてシンプルに①1位数+1位数の基本のたし算が確実にできるようなってほしい という願いのほか、②集中して問題に取り組む楽しさを味わってほしい ③全校で同じ問題に挑戦して競い合い、互いの努力を認め合ったり、自分の成長を感じ取ったりしてほしい という願いをもっています。この大会が一人でも多くの子供の心の糸を動かすことができたらいいと思います…。

★この「校長室だより」のカラー版は本校のホームページをご覧ください。★ご意見、ご感想をお待ちしています。下に記入しご提出ください。



堀田先生の水泳教室

今年、本校では数年ぶりに、市民プール指導員の堀田悦子先生に特別講師となっただいての水泳教室を行っています。初回の5日（水）は、1～6限に全学年が順番に指導をしていただきました。ありがとうございました。



ここ数年のコロナ禍でしっかりとした水泳の学習が十分には行えてなかったのが現状で、堀田先生には、かなり基本的なことから丁寧に教えていただきました。パワフルではつつとした先生の近くにいるだけで元気がもらえ、また教員にとっても学ぶところが多くあった水泳教室でした。



堀田先生には来週も来ていただけます。

シリーズ「教室におじゃまします」 7/5(水)1年生活科の巻

1年生は自分で種を植えて葉っぱや花、実や種のできる様子を観察する学習として、一人一鉢のアサガオと、畑に野菜を少し植えています。このところ「なつさがし」の探検をして、畑のオクラが大きく成長してきているのが気になっていた子供たちでした。



「今日は大きいオクラを収穫しましょう」という深本先生の言葉に「やったあ」と嬉しそうな様子です。



各自のはさみをケースごと大事にもって、教室に並んでから児童玄関へ移動し、外履きに履き替えてグラウンドに出ました。

日当たりのいい畑に濃い緑のオクラの葉っぱ。その陰にたくさんのオクラの実がなっていました。ただ全員が1コずつ収穫できるのか、はた目には少し心配です…。

しかし、子供たちは深本先生の言うことをよく聞き、我先にとケンカすることもなく、仲良く収穫を始めました。大きいオクラを見つけた子はもちろん、順番が後になって、小さいオクラをようやく収穫できた子も、皆自分のオクラを大事そうに手にしました。なんとか全員が自分のオクラをゲットできました。



「ゆでてマヨネーズ」「スープがいいな」とそれぞれメニューを考えていました。スーパーの袋に入れておみやげです。



おまけの<ひとこと> 去年の今頃の水泳教室がコロナで中止になっていたため、私にとっては今年が初めての堀田先生の水泳教室でした。初顔合わせかと思っていたところ、5日の朝一番にお会いしてお互いに「！！」よく見ると昔々、小学生の時に見たことのあるお顔。同じ小学校出身の少し後輩の方でした（詳しい年齢はここでは言いません…）。小さい小学校だったので年齢は違ってもすぐに分かりました。懐かしかったです。少し思い出話もしました。考えてみると、全校児童は今の荻生小学校ぐらいだったかもしれません。荻っ子たちも、学年が違ってもやがて大きくなって「！！」と再会できる関係であってほしいです。

★この「校長室だより」のカラー版は本校のホームページをご覧ください。★ご意見、ご感想をお待ちしています。下に記入しご提出ください。

校長室だより第12号への感想

年 児童名